

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 2783
部 名	経済部	課 名	働く人支援課	課長名	鈴木 敏弘
事務事業名	中小企業勤労者福祉サービスセンター補助事業				
予算上の事務事業名	中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23240	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				事業開始年度
施策名	第4施策 勤労者対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
市内の中小企業勤労者の福祉の向上を図るため、財団法人相模原市中小企業勤労者福祉サービスセンターの運営に対して助成する。			財団法人相模原市中小企業勤労者福祉サービスセンター		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
財団法人相模原市中小企業勤労者福祉サービスセンターへの管理費及び情報提供事業費の助成					
平成17年度実績 加入状況 事業所数1,507、会員数16,535人					
健康管理事業 (健康診断の助成等) 8,587人利用					
老後生活安定事業 (講座等) 38人利用					
自己啓発事業 (教室・講座等) 796人利用					
余暇活動事業 (レクリエーション事業等) 52,425人利用					
財産形成事業 (講座) 29人利用					
共済給付事業 (結婚祝金等) 2,722件					
情報提供事業 (会報の発行等)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
同様のセンターを有する他自治体においても、補助を実施している。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	83,933	80,238	89,303	87,970	87,970
一般財源	83,933	80,238	89,303	87,970	87,970
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	985	992	986	986	986
事業コスト合計	84,918	81,230	90,289	88,956	88,956
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金			対象名称と単位	加入会員数(人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	83,933	80,238	89,303	87,970	85,000
対象数	16,156	16,079	16,451		
単位あたり経費(円)	5,195	4,990	5,428	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比		0.96	1.09	#DIV/0!	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	加入事業所数（事業所）	指標式と指標の説明	加入事業所数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	1,478.0	1,492.0	1,507.0		
目標	1,135.0	1,235.0	1,335.0	1,435.0	1,535.0
目標達成度（%）	130.2	120.8	112.9		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	加入会員数（人）	指標式と指標の説明	加入会員数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	16156.0	16079.0	16451.0		
目標	12370.0	13460.0	14550.0	15640.0	16730.0
目標達成度（%）	130.6	119.5	113.1		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		補助団体は、会員増強の活動を実施し、自主財源の確保に努めており、事業内容は市内中小企業の福利厚生に寄与している。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
相模原市中小企業勤労者福祉サービスセンターの福利厚生活動を広く周知し、加入者の増加に努めるとともに、活動内容の充実を図る。それにより、自主財源を増やしてもらう。			会員数の増強方法や、補助団体の運営体制の見直しが課題となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		自主財源の確保し、効果的な事業の実施を推進する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			